



板垣代表の講演を聞く少年警察ボランティアたち
＝伊豆の国市農村環境改善センター

少年警察
ボランティア

有害情報対策学ぶ

大仁・三島・沼津 3署合同で研修会

大仁・三島・沼津警察署の少年警察ボランティア等3署合同研修会が10

日、伊豆の国市農村環境改善センターで開かれた。少年警察ボランティア

アから約70人が参加し、静岡県パソコンサポートアクティビティの板垣徹代表から「保護者のための青少年を取りまく有害情報対策」と題する講演を聞いた。

少年警察ボランティアは、青少年の健全育成を目的とした少年補導員、少年指導員、少年警察補助員らの総称。研修会で講師の板垣代表は、青少年がインターネットを利用する時の注意点やアドバイスについて話した。板垣代表は「子どもを被害者にしないためには、大人がしっかりと向き合い、本当の言葉を聞くことが大切」と強調。

その上で、インターネットや携帯電話で困ったことに巻き込まれた人の相談を受ける地域のネットワークアドバイザーの重要性を述べた。